Ishikawa Sunrise Industries Creation Organization
新産業創出のための総合的支援情報誌「イシコ」

ISICO

Vol 20 2004 SUMMER



｜巻頭特集｜雇用対策も新たに！

幅広いアングルから企業を支援

●産学官連携の最前線
トライアングル
(株)石川製作所

●ビジネス・フロンティアに進路を取れ！
BUSINESS FRONTIER
小松電子(株)

●創造的企業ルポ
21世紀のチャレンジ
フルデジットInc.／(株)連代コンストラクト

イシコ・トピックス
FINANCE
ISICOスタッフ紹介
インフォメーション・テーブル

表紙は、県地場産業振興センターで開かれた知的クラスター創成事業「石川ハイテク・センシング・クラスターキックオフ記念講演会」(2004年4月28日)。

あなたのビジネスをインターネット上でサポート
DGnet URL ● http://www.isico.or.jp



巻頭特集　雇用対策も新たに！

幅広いアングルから企業を支援

理事長インタビュー

起業のお手伝いから産学官連携のコーディネート、技術開発や販路開拓といった支援策で中小ベンチャー企業をアシストしてきたISICOも今年で6年目に突入します。今年度は、若者のものづくり産業への就業支援など、これまでの枠にとどまることなく、新たな支援メニューを追加し、企業の成長をさらに多角的な側面からサポートします。機能充実のISICOが必ず、企業力強化のお役に立ちます。ぜひ、ご活用ください。



谷本正憲
石川県知事



―― ISICOが発足して丸5年が経った。これまでの支援状況はどうか。

この5年間でISICOの取り組みも県内にようやく周知され、多くの中小・ベンチャー企業の皆さまにワンストップサービス機能をご利用いただいている。

インターネットを通じて情報収集や経営・技術相談をアシストする「DGnet(デジネット)」のアクセス数も昨年度はついに100万件を突破した。

この数字も、アクセスすれば、何か新たなビジネスの芽に出会えるという期待と信頼の表れだと感じている。

―― 発足当初からの大きなテーマである産学官連携の今年度の取り組みは。

いしかわサイエンスパークでの産学官連携を基盤とする研究開発が今年度、文部科学省の「知的クラスター創成事業」に採択された。本事業は全国で18件採択されている。今後5年間で痴ほうの早期診断支援システムを開発する。

痴ほうは不治の病といわれ、早期発見してもあまり意味がないとされてきたが、結核やがんもかつては不治の病と言われた。しかし、病気の早期発見が可能になったことで、治療法が確立されていった経緯がある。

痴ほうも早期発見が可能になれば、治療できる可能性も出てくるだろう。県内の企業と県内の大学をISICOがコーディネートし、プロジェクトを成功に導きたい。同時に、周辺産業への波及も期待している。【4ページに関連記事】

―― 今年度から取り組む新事業の特徴は。

厚生労働省とともに若者の就業を支援する経済産業省の「ジョブカフェ」事業に採択されたことも新しい取り組みの一つだ。

ISICOには、企業のさまざまな情報が集まるので、これをどう組み合わせ、活用していくかが重要だ。企業がどんな人材を求めているかという情報もその一つであり、これを求職者側の情報とうまくマッチングできれば企業にとって本当に有為な人材が得られる。

特に今は、景気が回復基調に入ってきたとはいえ、まだまだ雇用問題は厳しいものがある。石川の産業の特徴であるものづくりの基盤がさらに強化されるよう特色ある取り組みをしていきたい。【5ページに関連記事】

また、これまでISICOは主に製造業を支援対象としてきたが、農林水産業者や商店街などへの支援メニューも拡充した。【7ページに関連記事】

―― さらにきめ細かな支援を実現するために、これからのISICOの強化ポイントは。

ISICOの存在価値は、企業が抱える問題にいかに具体的にこたえていくかということであり、企業の皆さまが期待しているのもまさにその点に尽きる。

そのためには、企業側のニーズにこたえられる人材の育成も今後の強化ポイントの一つだ。例えば、産業界と大学など研究機関をつなぐコーディネーターの発掘も急務の課題で、ものづくりや情報サービス、農業など、専門性を備えたコーディネーターを発掘して、磨きをかけていきたい。

そういったことを通じて企業の皆さま、そして理工系の大学の方々からも信頼される、頼りにされる組織として強化を図り、さらに存在感をアップしていきたいと考えている。



ACTIVITY.1

知的クラスター創成事業がスタート

痴ほうの早期診断システム開発を県内産業の起爆剤に

今年4月、ISICOに本部を置く知的クラスター創成事業「石川ハイテク・センシング・クラスター」が、スタートしました。知的クラスター創成事業とは、5年間、国からの補助金を受けながら地域に集積する研究機関や関連企業が連携して新たな事業の創出を図るもの。現在、全国18地域で、さまざまな分野のプロジェクトが進行しています。

石川県が取り組むのは、一昨年に始まった地域結集型共同研究事業から続く痴ほうの早期診断支援システムの構築です。脳の反応を調べる脳磁計など、これまでの研究実績を生かし、金沢大学や北陸先端科学技術大学院大学、金沢工業大学などの研究機関と県内企業が連携して、脳健診のためのバイオセンサ技術の確立や脳磁計測システムの開発など6つのプロジェクトで事業化を目指します。

ISICOでは産業界と大学のマッチングをはじめ、これらのプロジェクトを円滑に進めるための多様な活動に取り組んでいます。特に、今年から着任した科学技術コーディネーターはビジネスと研究の双方を熟知しており、ニーズを踏まえた実用性の高い事業化をバックアップします。

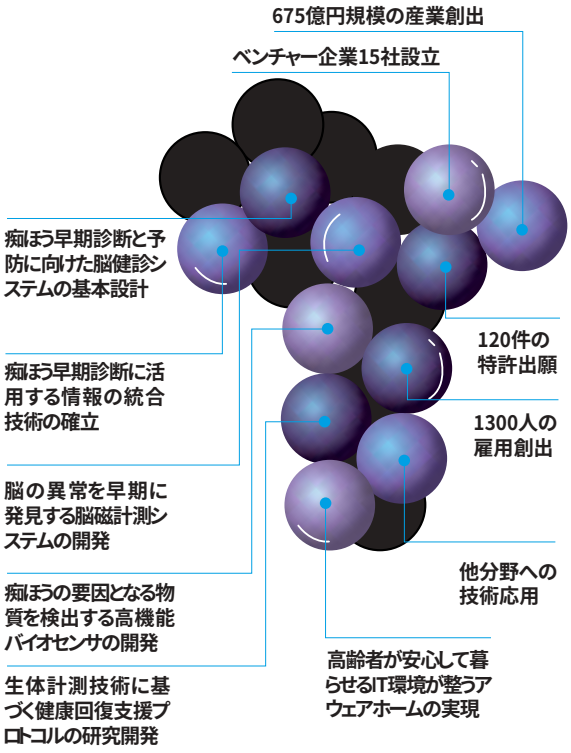
また、プロジェクトの過程で生まれた技術を県内企業に広く還元し、新たなビジネスの芽をはぐくむことも重要な目的の一つ。企業や県民が参加してのビジネスモデル研究会の開催、ベンチャー企業とのコーディネートなどを通して、ビジネスマッチングにも努めていきます。

5年後の目標は、「売上規模約675億円の産業創出」「15社のベンチャー企業設立」「120件の特許出願」。花やブドウなどの房を意味する「クラスター」の言葉通り、この事業から県内に新たなビジネスをたわわに実らせたいと考えています。



ISICO内に設置された知的クラスター本部。専任のスタッフが業務に取り組む。

■ 石川ハイテク・センシング・クラスターが目指す成果目標



● 石川ハイテク・センシング・クラスター

キックオフ記念講演会を開催

石川ハイテク・センシング・クラスターのスタートにあたって、キックオフ記念講演会が4月28日(水)、県地場産業振興センターで開かれ、県内の大学、企業など、関係者約220人が参加しました。

講演会では、谷本正憲知事や来賓の馳浩文部科学政務官、笠原彰中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局長のあいさつに続き、山﨑弘郎東京大学名誉教授と有本建男文部科学省科学技術・学術政策局長が講演。参加者は日本の科学技術をけん引する二人の話に真剣に耳を傾けました。

講演後には金沢工業大学鈴木良次教授が、県が取り組む研究の概要を説明。産学官連携で同事業を成功に導くことを誓いました。


研究統括を担当する鈴木良次金沢工業大学教授。

ACTIVITY.2

ジョブカフェ事業

若者を育成し、ものづくり企業とマッチング

この7月、金沢市広坂の「石川県若者しごと情報館」の中に、フリーターや無職の若者、大学生らの就業をマンツーマンで支援する「ジョブカフェ」がオープンします。人材の流出を防ぐと同時に、機械や繊維といった石川県経済を支える「ものづくり産業」の足腰強化が狙いです。

ジョブカフェでは、商品開発やマーケティングを担う創造性豊かな人材を発掘し、若者たちに的確な仕事選びや就職活動をサポートする「ジョブサポーター」や技能トレーニングや企業の紹介、面接指導などを行う「仕事探しシェルパ」といったスタッフが、適性の見極めから就職活動までを一貫して手助けします。

単に仕事のあっせんだけにとどまらず、例えばパソコン研修や企業の協力を得て行われる仮想OJT(※)などを通して即戦力となる人材を育成し、企業のニーズとマッチングを図るのが大きな特徴となっています。

また、実際に企業からの発注を受け、若者がチームを組んで商品を企画し、試作品を製作する「ものづくりビジネストライアル」を実施し、企画力やマーケティング力を養います。

ジョブカフェは、金沢のほか、七尾と小松にもサテライトオフィスを設置。ISICOはこの事業の受託先となり、ものづくり企業3,000社と若者28,000人を対象にした人材ニーズ調査、若者向けの新しい能力評価システム「求職者ロードマップ」の開発などを行い、若年層の就業促進と、ものづくり産業の活性化を目指しています。

※On The Job Trainingの略で、実際に業務を体験しながら教育をすすめる研修。



若者の就職支援のためワンストップサービスを提供します。写真は、若者しごと情報館。

ACTIVITY.3

いしかわフロンティアラボ

賃貸型スペース8棟がオープン。進出企業を募集中！

ISICOが辰口町のいしかわサイエンスパーク内に整備する中小ベンチャー企業向けの戸建て賃貸型事業スペース「いしかわフロンティアラボ」が完成し、今年6月4日(金)に開所しました。現在、6社の入居が決定しており、新商品開発や技術の高度化などに取り組むことにしています。ISICOでは引き続き、企業の進出時期に合わせて建物を建築する予定で、フロンティアラボへの進出企業を募集しています。

賃貸用地の広さは、50坪、100坪、150坪の3つ。賃貸用施設も、「情報棟」「試作開発仕様の工場棟」「研究室仕様の工場棟」の3タイプから選ぶことができ、最長20年間の賃貸が可能です。「賃借料の30%を、10年間を限度に石川県が補助」「産学共同研究に便利」などメリットもいろいろあります。ベンチャーマインドを発揮して、商品化や産業化にお役立てください。





情報棟、工場棟など、建物の用途によって最適の仕様を選ぶことができます。

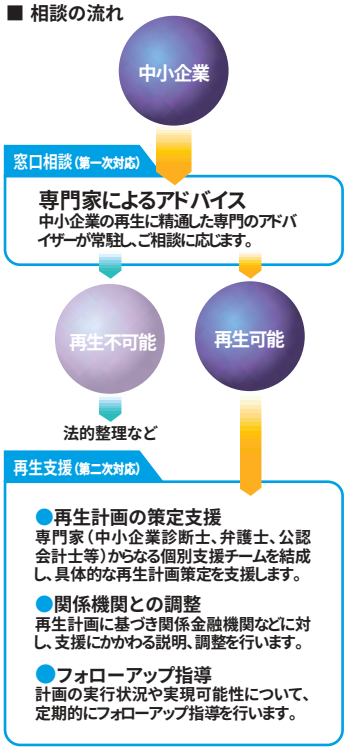


ACTIVITY.4

「中小企業再生支援室」の体制を強化

スピード対応で経営状況の悪化にブレーキを

■ 相談の流れ



経営革新に意欲的な中小企業を支援するISICO経営支援センターでは、経営状況が悪化した企業をサポートする「中小企業再生支援室」の体制を強化しました。

再生支援室は、「経営的な問題を抱え、このままでは企業の将来に不安がある」という中小企業に対して、窓口相談に応じています。また、中小企業診断士や公認会計士といった専門家を加えた再生支援チームを結成し、再生計画の策定や金融機関などとの調整を行います。

昨年設置してから1年間で60件の相談が寄せられ、そのうち7件について業務が完了、つまり再生計画の策定が終了しました。これは、全国的に見てもトップクラスの実績です。

ただ、多くの相談が持ち込まれたため、対応が遅くなってしまうケースもあったことから、専任のアドバイザーをこれまでの2人から4人へと倍増しました。



人員増など支援体制を強化し成果の倍増を目指します。

再生対象となる企業の経営状況は待ったなしの対応を求められるものばかり。今年は15件の再生計画策定を目標にスピード重視で再生支援に取り組みます。

また、「経営支援室」では、民間企業の第一線で活躍してきたアドバイザーが、豊富な知識とノウハウを生かしながら経営や人材育成についてコンサルティングしており、再生支援室と経営支援室の両輪で、企業の経営革新を集中的に支援します。

ACTIVITY.5

国際ビジネスサポートデスク

海外進出時などの問題をワンストップで解決へ



ISICOは、石川県が今年度からスタートさせた「国際ビジネスサポートデスク（県産業政策課内）」と連携しながら、海外企業とのビジネスや海外進出を考える県内企業を支援します。

経済のボーダレス化が進む一方で、「商習慣の違いで契約に手間取っている」「必要な現地情報が入手できない」など、国際ビジネスならではの問題も顕在化しています。「国際ビジネスサポートデスク」は海外進出や現地企業との取引で遭遇するさまざまな問題をワンストップで解決する総合相談窓口です。

「中国・台湾」「北米・欧州」「韓国・東南アジア」「その他地域」のエリア別担当者が相談に対応。法律や税制、契約などに関する相談について国際弁護士がアドバイスを提供するほか（初回無料）、現地情報の提供、現地企業への橋渡し、事業資金の助成といった支援メニューを用意。ISICOはジェトロ金沢などとも連携し、どんなご相談にも一週間以内に回答する体制を整えています。

ACTIVITY.6

県産農林水産物の販路開拓

首都圏でのニーズ発掘と農工連携を促進

ISICOでは、機械金属や繊維と並ぶ石川県の主要産業である食品分野の活性化を図るため、今年から農林水産業の支援を本格化させました。

その一つとして、マーケティングやマネジメントを担当する専任のアドバイザーを新しく設置しています。国内人口の約3割が集中する首都圏を中心としたニーズを吸い上げ、県内企業や農林漁業者の商品開発や販売に役立ててもらうのがねらいです。

県内では、この専任アドバイザーや食農連携をすでに手掛けているコーディネーター、ISICOスタッフが農業の生産技術向上などの相談に加え、商品開発、販売ルートの確立などもバックアップしていくことになっています。例えば、産地から消費地への輸送や付加価値を高めるための加工など、技術面を手掛ける企業とのコーディネートも請け負います。

また、石川県農業短期大学など、「学」との連携も積極的に推進しています。食の安心が不可欠な今、専門家による成分検査やアドバイスなどを生かし、安全性や機能性に優れた食品開発に取り組める環境を整備します。

■ 農林水産分野のトライアングル



❶ 相談／ISICOコーディネーターが対応します。
❷ ビジネスマッチング／相談内容に応じた専門家を紹介します。
❸ 技術やノウハウの提供／専門家の視点を商品に取り込みます。
❹ 商品化／産学官の連携を生かした商品開発を進めます。



にぎわい創出のため片山津商店街が3年前に始めた「宇吉郎祭り」はすっかり定着し、活性化に一役買っています。

ACTIVITY.7

地域商業の活性化推進

大学の英知を「商店街活性化」に生かす

企業独自で解決の難しい技術的な課題を解決するために、ISICOではこれまで、主に「ものづくり」を対象に産学官連携の支援に取り組んできましたが、今年度からは「地域づくり」にもそのフィールドを広げていきます。

その一つとして考えられるのが、大学や公設試験研究所と地域の商店街が連携した独自の商品開発や調査・研究、イベントの開催です。

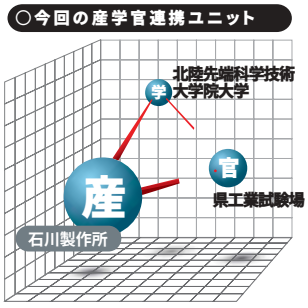
商店街利用者に対するマーケティング調査やにぎわい創出のための研究、空き店舗の利用方法の企画など、「地域づくり」のために大学等の研究機関と連携するという事例は全国的な広がりを見せています。

ISICOでは、このような商業版‘産学官連携’に取り組む商店街に対して、「商業活性化推進基金事業」などでサポートを行い、一方では、大学の知的資源を活用してもらうため、商店街と研究者の橋渡しに積極的に取り組んでいきます。

トライアングル
TRIANGLE

県内では、産学官の連携によって
ニュービジネス創造を目指す動きが本格化しています。
ここでは、その実例に迫ります。

痴ほうの予防システム確立に向け バイオセンサ開発に挑む



加速度的に高齢化が進む今、痴ほうの予防・予知を実現する技術の確立が求められている。石川製作所では北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）や県工業試験場と共同で、この社会ニーズにこたえる「脳機能計測用バイオセンサ」の実用化に乗り出している。

脳機能計測用バイオセンサは、採取した微量の血液などから老人性痴呆症の代表・アルツハイマー病を診断する。従来のアルツハイマー病健診は、脳疾患、神経疾患の入院患者より採取した髄液を、人が卓上の検査装置で調べる方法が主流であった。それに対して、バイオセンサはチップ上の主に１００μm以下の微細な流路に、微量の血液などを流し、特定の病気の因子と結び付く抗原・抗体反応を利用して検査結果を導き出す。検査・判定時間のスピードアップと安価で簡便な検査が大きなメリットだ。また、場所を選ばない検査が可能で、高齢者の負担も軽減されるといった成果も期待されている。


「今後、ますます成形技術の向上に努めていきたい」（市川氏）

JAISTの民谷栄一教授をリーダーに、JAISTではアルツハイマー病の早期発見を目的とした反応要素技術の研究、石川県工業試験場では小型検出装置の開発を担当。そして、石川製作所では、安価なポリマーを利用したプラスチック製チップの量産装置開発に取り組んでいる。現段階では、まだ成型に時間がかかってしまうなどの問題は残されているものの、プラスチックは、これまでチップの素材として使われていたガラスやシリコンに比べて安価なため、大幅な生産コスト削減が期待されている。

同社では超音波骨量測定装置「Benus」の製造・販売実績を持ち、同製品での医療用具製造・販売の認可も受けている。バイオチップ分野の研究をけん引する市川央（ひろし）氏は、「地域結集事業での連携プロジェクトがスタートしてから約2年半がたち、今年4月からは文部科学省が推進する知的クラスター創成事業の一つとなった。今後は成形時間の短縮と精度向上を中心に研究を進め、2年後にはチップの量産技術を確立させたい」と力強く話している。

㈱石川製作所

DATA
金沢市北安江1丁目3番24号　ピア金沢ビル6F
TEL 076-277-7411　FAX 076-277-7410
http://www.ishiss.co.jp

BUSINESS FRONTIER

ビジネス・フロンティアに進路を取れ!

ビジネスチャンスの拡大、
逆境をバネにランクアップ･･･
さまざまな目的に向け、販路開拓に
乗り出した企業の挑戦を紹介します。

小松電子㈱

DATA
小松市安宅町甲135
TEL 050-3366-2154
FAX 0761-21-2082
http://www.komatsu-ec.co.jp/

電子機器の製造業から医療分野へと進出



生ごみ処理機のRECO。2キログラムの家庭用タイプ。

電子機器やプリント基板を製造する小松電子は、2年前から医療分野へと本格的に進出している。

家電メーカーが次々と中国へ工場を移転させる中、日本の生産拠点の売り上げは落ち込み、小松電子も例外ではない。この逆境を切り開くための手段が新分野への進出なのだ。

その一つが、昨年から販売を開始した細菌薬剤感受性測定装置だ。さまざまな薬品の中から、ある細菌に対してどれがもっとも有効か、どのくらいの濃度が適当か、などを検査できる。これを生かせば、薬品を服用した時に生じる体の副作用を最低限に抑えることが可能となる。

細菌薬剤感受性測定装置には検査結果を画像で表示する技術が要求されるが、装置の開発には、ブラウン管やプラズマテレビの製造で培った画像解析技術のノウハウが生かされた。また、主流だった海外製品と比べ、一貫した自社生産などの利点があり、大幅なコストダウンが実現できた。

さらに小松電子では、環境分野にも乗り出している。それが、生ごみ処理機「RECO(レコ)」だ。

食品業者を対象に3年前から販売している「RECO」は、微生物を利用して生ごみを水にまで分解する。そのまま下水に流せるので、処分を簡単に済ますことができる。

小松電子では、今後医療用製品のラインナップの充実を図る考え。システム技術部の吉田哲郎部長は、「目標は、現在数%の自社製品の売り上げを50%に引き上げること」と展望を語っている。



細菌薬剤感受性測定装置。一日に3000枚のパレットが検査できる。

NEWS

首都圏での展示商談会にぜひご参加を!

ISHI-BRAマーケットプレイス／いしかわベンチャーマーケットin東京

【開催日時】11月29日(月)・30日(火)
(いしかわベンチャーマーケットin東京は29日のみ)
【開催場所】赤坂プリンスホテル



ISICOでは、販路開拓支援の一環として11月に開催する「ISHI-BRAマーケットプレイス」への、出展企業を募集している。

これは、首都圏の大手百貨店や小売店、商社のバイヤーを招いて行う展示商談会で、昨年は県内企業37社が参加。首都圏からバイヤーや商品開発担当者など約130人が来場し、会場のあちこちで名刺交換や商談を交わす盛況ぶりだった。

また、首都圏でのパートナー発掘、ビジネスマッチングを目的としたビジネスプラン発表会「いしかわベンチャーマーケットin東京」も同時開催し、7社が自社の製品・サービスの特徴などについてプレゼンテーションした。

いずれのイベントも、商品やビジネスプランなどを巨大市場に売り込む絶好の機会。新たな販路の開拓に、ぜひご参加を。

【お問い合わせ】
ISHI-BRAマーケットプレイス
県産業創出支援機構
企業振興部
TEL076-267-1140
いしかわベンチャーマーケットin東京
県産業創出支援機構
新規事業支援部
TEL076-267-1145

CHALLENGE

21世紀のチャレンジ

ベンチャースピリットに触れる

産業構造の高度化、急速な技術革新が進む中にあって、
企業にとってはビジネスチャンス獲得のために
新たなチャレンジが求められています。
生き残りをかけ、独自の取り組みを見せる2社を紹介します。

ベンチャー

アクセス動向解析をきっかけにIT戦略を構築

フルデジットInc.



■ Japan Office　金沢市諸江町上丁307番地27 TEL076-233-8600
■ 代表者　矢野　雄章
■ 設　立　平成15年3月
■ 資本金　1000USドル
■ 社員数　8名
■ 事業内容
Webシステムの企画提案・製作・保守、Webインターフェースデザイン、Webアプリケーションサービスの提供、上記すべての運用コンサルティング
●http://www.fulldigit.net/

ホームページ制作を手がけるフルデジットは、アクセスログを使って閲覧者の動向を解析するシステム「ログみる」を開発した。これにより、どのページにアクセスが多く、滞在時間が多いかなどが一目瞭然となり、コンテンツの改善に役立てることができる。

「ログみる」は後発だが、既存の解析プログラムではなく、独自のデータベースを開発。遊び感覚で簡単に扱えるグラフィカルインターフェースや現在アクセスしているユーザーの閲覧状況がリアルタイムで表示される機能などで独自性を打ち出している。

今年5月の正式リリースを前に出品したeメッセでは、多くの企業から高い評価を受けた。

もっとも、同社の矢野代表は『“ログみる”の販売が最終目的ではありません」と話す。ホームページを持つ企業が増える一方、魅力的なサイト運営に不可欠なアクセス動向解析への関心はいまだに低い。このシステムの導入をきっかけに、コンテンツの問題点を把握。サイトに期待する目的の達成のため、より効果的なサイトを運営していくことが本来の狙いだ。矢野代表は、「企業の発展につながるネット戦略を顧客とコミュニケーションしながら作り上げたい」と展望を語っている。

新分野進出

雑草が生えにくい特殊な土を開発

(株)連代コンストラクト



■ 本社　松任市西柏1丁目8-18 TEL076-274-2682
■ 代表者　連代　毅彦
■ 設　立　平成3年5月
■ 資本金　1000万円
■ 社員数　19名
■ 事業内容
アスファルト舗装工事

道路の舗装工事を手がける連代コンストラクトは、雑草が生えにくい特殊な土「永土（エード）」を開発した。「永土」は浄水場の発生土に独自の添加剤を約5%、接着効果剤を約45%加えたもので、水を含むと30分ほどで固まる性質を持つ。固くなるので、雑草などの根は伸びず育ちにくい。一方で、吸水性と保湿性は高いため、芝やコケなど背の低い植物は生育でき、公園などに使うとメンテナンスの省力化が可能だ。主原料は枯れ葉などが腐った自然物で、環境に優しく、細かく砕けば再利用できる。園芸用や雨水の浄化システムへの応用も考えられており、建設会社や園芸用品を扱う企業などからも引き合いが来ている。

開発のきっかけは3年前。同社の連代毅彦社長は道路上で視界が悪くなるほど生い茂った中央分離帯の雑草を目にし、「グリーンベルトとして残したまま、雑草を取り除くことはできないか」と考えた。舗装工事業で培った地盤改良のノウハウを生かし、開発を進め、昨年10月に完成。現在は代理店の選定など販路開拓に取り組んでおり、今年度中の発売を目指している。

連代社長は「2年後には“永土”の売り上げ2億円を目標にしている」と話し、今後の展開に意欲を見せている。

TOPICS
イシコ・トピックス

ISICOでは、県内の中小・ベンチャー企業の活性化、産学官連携の推進のため、さまざまな取り組みを行っています。その様子をダイジェストでどうぞ！

49,000人が最新ITを見て、触れる

e-messe kanazawa 2004



写真上／過去最高の人出でにぎわったe-messe。

写真左／ISICOブース内に設けたSOHO・ネットベンチャーコーナーも大勢の関心を集めた。

写真右／石川県中小企業技術交流展では67社が技術力を披露した。





最新のIT製品やサービスを紹介する「e-messe kanazawa 2004」が4月15日(木)から3日間、県産業展示館1号館で開催された。19回目を迎えた今年のe-messe には65の企業・団体が出展、過去最高となる48,757人が訪れた。

ISICOが開設したブースでは、Web上でビジネス情報の収集や技術相談をサポートする「DGnet(デジネット)」やバーチャルモール「お店ばたけ」について紹介した。また、ブース内のSOHO・ネットベンチャーコーナーに出展した企業家らが、自社の技術やビジネスモデルについてプレゼンテーションを行い、来場者の関心をひいた。

期間中、2号館ではISICOの主催で、「石川県中小企業技術交流展」を開催。67社が出展し、日頃の技術開発の成果を見せたほか、今年は新たに中国進出企業のコーナーも開設した。

県外企業がビジネスマッチングを目指して視察

石川県企業交流懇談会



今後の取引の可能性を探るため、県外の発注企業が県内企業と情報交換した。

石川県とISICOは4月15日(木)・16日(金)、新たな受注獲得を目指す「石川県企業交流懇談会」を開催し、過去最多となる県外大手・中堅発注企業39社の役員、発注担当部課長41名が石川県を訪れた。

一行は15日(木)午後2時、県産業展示館2号館でISICOの斉藤副理事長から歓迎のあいさつを受けた後、「第17回石川県中小企業技術交流展」「第42回機械工業見本市金沢」「e-messe kanazawa 2004」を視察。その後、市内のホテルで県内受注企業98社108名、県関係者と情報交換を行った。

16日(金)には、県外の発注企業31社が県内の受注企業81社を訪問し、工場の視察や商談を行った。ISICOでは、県内受注企業の新規取引に結びつくよう、積極的にフォローを行っている。

活発化する韓国大邱とのビジネス交流

韓国ベンチャー企業がe-messeに出展



個性的な商品を出展した韓国ITベンチャーに県内関係者から注目が集まった。

ISICOが昨年から進めている韓国・大邱市の(財)大邱デジタル産業振興院(DIP)との交流が活発化している。

4月に開催された「e-messe kanazawa 2004」には、昨年に引き続き韓国大邱のIT企業が参加した。今回、出展したのは地理情報システムやe-ラーニング用の教育ソフトなどを開発する5社で、開催期間中、積極的に自社の技術をアピールし、県内企業24社との商談に臨んだ。

また、e-messeに先だって、IT産業に関連の深い県内企業5社を訪問。具体的な商談へと進展したケースもあった。

15日(木)夜には、金沢市内(Kanazawa Biz Cafe)でビジネス交流会に参加。昨年10月、大邱デジタルエンターテインメント産業博覧会「DENPO」に出展した県内企業も加わり、ビジネスマッチングの可能性を探った。

LOAN

平成16年度、石川県産業創出支援機構では、以下の貸付・貸与事業を実施しています。

設備資金貸付事業・設備貸与事業・モノづくり等設備貸与事業

●お問い合わせ
(財)石川県産業創出支援機構
企業振興部
TEL 076-267-1140

	設備資金貸付	設備貸与（割賦・リース）	モノづくり等設備貸与（割賦）
内容	創業・経営基盤の強化に必要な設備資金の1/2以内を長期・無利子で貸付	創業・経営基盤の強化に必要な設備をISICOが代わって購入し、長期・低利で貸与（割賦またはリース）	創業・経営基盤の強化に必要な設備をISICOが代わって購入し、長期・低利で貸与（割賦） ※ただし、次のいずれかに該当する企業であること ● モノづくり再生支援プログラム対象企業 ● 経営革新支援法等承認企業 ● 地域貢献型企業
貸付限度額	50万円～4,000万円 （特例25万円～6,000万円）	100万円～6,000万円	100万円～6,000万円
利息	無利子	【割賦損料】 年2.75% 実質金利2.00～2.25% 【リース料】 月1.408%（7年） ～3.006%（3年）	【割賦損料】 年2.75% 実質金利2.00～2.25%
期間	7年以内 （うち据置期間半年または1年以内） ※保証人必要。貸付金額1,000万円超の場合、原則として物的担保が必要 ※県の制度金融との併用可能	【割賦】7年以内 （うち据置期間半年または1年以内） ※保証金10%（割賦制度）。原則として保証人のみ 【リース】3～7年 （設備引渡の翌月より、毎月自動振込） 【県の利子補給】 ● IT（情報技術）分 …… 0.75% ● モノづくり再生支援分 …… 0.75% ● 一般分 …… 0.50% ※県のほか、市町村によりさらに利子補給がありますので、当機構へ相談・お問い合せください。	【割賦】 7年以内（うち据置期間半年または1年以内） ※保証金10%（割賦制度）。原則として保証人のみ 【県の利子補給】 ● IT（情報技術）分 …… 0.75% ● モノづくり再生支援分 …… 0.75% ● 一般分 …… 0.50% ※県のほか、市町村によりさらに利子補給がありますので、当機構へ相談・お問い合せください。

SUPPORT

県内の商店街および地域商業の活性化を図るため、下記の助成事業を実施しています。

商業活性化推進基金事業

●お問い合わせ
(財)石川県産業創出支援機構
経営支援センター
TEL 076-267-1244

	商店街振興組合等イベント事業	新規事業等展開支援事業	地域商業活性化事業
内容	商店街活性化のための集客を目的とした新規性の高いイベント事業に対して助成します。 ※金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、津幡町は除く	商店街活性化のため、コミュニティビジネスやIT活用をテーマとし、商店街内において新たに起業する事業に対して助成します。	商店街内の空店舗を集客効果が見込まれる事業に活用する場合の内装工事費に対して助成します。
対象	商店街振興組合や商店街事業協同組合などのほか、任意の商店街組織	●グループ （商店街の会員等を4人以上含んでいるもの） ●個人 （事業の拠点を置こうとする商店街組合等の会員となること。事業内容が当該商店街の活性化に資するものであって、当該商店街組合等の推薦を受けたものであること）	商店街振興組合や商店街事業協同組合などのほか、任意の商店街組織
助成率	3/4以内	3/4以内	1/4以内
貸付限度額	300万円	300万円	100万円

いしかわクリエイトラボ入居者募集

いしかわサイエンスパーク内のインキュベート施設・いしかわクリエイトラボでは、現在、入居企業を以下の通り募集しています。

■ 募集区画
50㎡×6区画

■ 応募資格
(1)インキュベータ
●新分野への進出、技術開発など、創造的企業活動を行う中小企業
●独自の事務所・研究室が持てない小規模企業
●創業まもない中小企業、これから起業を目指す意欲ある方
(2)レンタル・ラボ
●研究開発に取り組むすべての企業

■ 利用料金
●賃貸料
【インキュベータ】
1㎡あたり2,000円／月
【レンタル・ラボ】
1㎡あたり3,000円／月
●共益費　1㎡あたり500円／月
●保証金　月額賃貸料の2カ月相当

■ 利用期間
原則3年以内
（必要な場合だけ2年延長可）

■ 入居者特典
●高速インターネット（100Mbps）常時接続無料
●24時間365日利用可能
●ISICOによる情報提供
●無料駐車場
●北陸先端科学技術大学院大学との共同研究の場合は、大学の設備も一部利用可能

お問い合わせ
(財)石川県産業創出支援機構サイエンスパークオフィス
TEL 0761-51-0122

INFORMATION TABLE
インフォメーションテーブル

起業・新分野進出のほか、経営や技術の高度化などに役立つ情報を紹介するページです。

SEMINAR　セミナー

日　程 ■ 6/22(火)、7/6(火)、7/20(火)、8/4(水)、8/20(金)
テーマ ■ ITベンチャー知的財産戦略セミナー2004
場　所 ■ 県地場産業振興センター
総務省北陸総合通信局 ✆076-233-4421

日　程 ■ 6/25(金)
テーマ ■ ソニー流ものづくりセミナー
場　所 ■ 金沢勤労者プラザ
ソニー・ヒューマンキャピタル(株)
✆03-5475-3632

日　程 ■ 6/25(金)・26(土)
テーマ ■ MS-Access(2)応用
《データベース入門編》
場　所 ■ 県ソフトウェア研修開発センター
県ソフトウェア研修開発センター
✆076-267-8000

日　程 ■ 6/28(月)～7/2(金)
テーマ ■ JAB認定ISO14001環境審査員研修コース
場　所 ■ JACOプラザ金沢
(株)日本環境認証機構 ✆076-268-9375

日　程 ■ 6/29(火)～7/2(金)
テーマ ■ 産業大学講座
「マイクロソルダリング教育セミナー」
場　所 ■ 県工業試験場
(社)日本溶接協会 ✆03-3257-1526

日　程 ■ 6/30(水)～7/2(金)
テーマ ■ Visual Basic .NETプログラミング技術
場　所 ■ 県ソフトウェア研修開発センター
県ソフトウェア研修開発センター
✆076-267-8000

日　程 ■ 7/1(木)ほか11回
テーマ ■ 創業・経営改革セミナー
アントレプレナーDo it
場　所 ■ 雇用・能力開発機構石川センター
雇用・能力開発機構石川センター
✆076-222-1731

日　程 ■ 7/2(金)～3(土)
テーマ ■ MS-Access(3)マクロ
《データベース入門編》
場　所 ■ 県ソフトウェア研修開発センター
県ソフトウェア研修開発センター
✆076-267-8000

日　程 ■ 7/5(月)
テーマ ■ 産業大学講座
「道具のように使えるロボット」を目指して
場　所 ■ 県工業試験場
県産業創出支援機構 ✆076-267-8109

日　程 ■ 7/6(火)・7(水)
テーマ ■ PhotoShop入門
《デジタル・コンテンツ作成技術入門編》
場　所 ■ 県ソフトウェア研修開発センター
県ソフトウェア研修開発センター
✆076-267-8000

日　程 ■ 7/8(木)～9(金)
テーマ ■ Visual Basic .NET移行技術
《Visual Basicによるシステム開発編》
場　所 ■ 県ソフトウェア研修開発センター
県ソフトウェア研修開発センター
✆076-267-8000

日　程 ■ 7/26(月)・27(火)
テーマ ■ SQL入門 -SQL&PL/SQL入門講座-
《データベース入門編》
場　所 ■ 県ソフトウェア研修開発センター
県ソフトウェア研修開発センター
✆076-267-8000

日　程 ■ 8/5(木)～6(金)
テーマ ■ MS-Access2002
VBAアプリケーション開発(2)応用
《VBAによるシステム開発編》
場　所 ■ 県ソフトウェア研修開発センター
県ソフトウェア研修開発センター
✆076-267-8000

EVENT　イベント

日　程 ■ 8/21(土)～22(日)
テーマ ■ いしかわ環境フェア2004
場　所 ■ 県産業展示館2号館
石川県環境安全部環境政策課
✆076-232-3991

さらに詳しい情報・最新情報は、
DG net↓
http://www.isico.or.jp
をご覧ください。

DGnet デジネット活用講座.1

DGnet(デジネット)は、最新情報の収集から、経営や技術に関する相談、産学官のネットワーク形成など、あなたのビジネスをインターネット上で支援します。

DGnetをフル活用するためにまずは、“DGnetウォーカー”に登録してください。

(登録料・会費無料)

[登録の手順]



ここから

1 まず、デジネットのトップページ(http://www.isico.or.jp)から、デジネットウォーカー登録ページに入ってください。

2 登録は、登録ページの記入フォームに必要事項を入力するだけでOK！デジネットをあなたのビジネスにフル活用してください。



登録完了

登録すると下記のサービスがご利用になれます。

[情報発信]
伝えたい情報をデジネットから発信
イベント・セミナー情報や企業情報、新製品・新技術など、あなたがPRしたい各種ビジネス情報をインターネットで広く発信することができます。

[バーチャル相談]
ネットで相談、専門家が素早く解決
経営面や技術面に関するさまざまな問題や公的機関の施策や制度についての相談に対し、専門家などがメールで素早く的確なアドバイスを送ります。

[メルマガ]
ビジネスに役立つ情報を無料でメール配信
セミナーや融資など、デジネットに登録されたビジネスに役立つ最新情報を「DGnet News」として、毎週月曜日、無料でメール配信します。

[名刺交換]
ネット上で名刺を交換。最新データに自動更新
デジネットウォーカーの登録者同士は、ネット上で名刺交換できます。所属や連絡先の変更など情報を更新すると、交換した相手方のデータも同時に更新されます。

DGnetをリニューアル！
http://www.isico.or.jp

今年4月1日から、DGnetをリニューアルし、「イベント・セミナー」「補助金・助成金」等の情報を項目別に表示し、知りたい分野の最新情報を一目でご覧いただけるようになりました。企業の情報力・経営力・技術力の向上のため、ぜひご利用ください。

Ishikawa Sunrise Industries Creation Organization

財団法人
石川県産業創出支援機構
Ishikawa Sunrise Industries Creation Organization

●お問い合わせは
TEL:076(267)1001
FAX:076(268)4911
〒920-8203　石川県金沢市鞍月2丁目20番地
石川県地場産業振興センター新館
URL　http://www.isico.or.jp
E-mail　info@isico.or.jp

編集後記

今年度のISICOは、新たな事業を含む幅広い分野で、皆様への支援を充実させるため、新組織のもと、スタッフが全力で対応いたします。今後とも、気軽にISICOにご相談ください。

［発行月］2004年6月（年4回発行）　［発行所］財団法人　石川県産業創出支援機構　［編集協力］ライターハウス／金沢市問屋町1丁目75番地